

出会いの扉

このコーナーでは、市内で活動している団体・サークルを紹介します。広報紙でPRして活動の輪を広げ、仲間を増やしてみませんか。掲載希望は市民広報室まで（☎65-6504）。※営利や宗教・政治・選挙を目的とするもの、限られた地区の住民が参加する活動や団体などは掲載できません。

団体名 湖北おはなし隊
〈代表〉 松山 敬さん（☎090-5241-4321）

活動場所 湖北公民館(湖北町速水)

活動日時 不定期（活動に合わせて集まります）



活動PR

私たちは、本を通して子どもたちの豊かな心を育てるお話を届ける活動をしています。

主に、保育園・幼稚園・子育て支援センターを訪問し、おはなし会を開いています。子ども達の笑顔、驚きの声、心が揺れ動く様子に出会うと、こちらまでほっこりとした気持ちになります。

また、いろんな年代のスタッフとお話の小道具を作ったり、打ち合わせや練習する時に、ちょっとおしゃべりすることも楽しみの一つです。

おはなし・制作スタッフを随時募集中です。気軽にご連絡ください。

6月7日(土)、8日(日) 秀吉公の意思を受け継ぎ、活気ある城下町に

城下町に今も息づく歴史や文化を発信するため「近世城下町ふるさとまつり」が中心市街地一帯で開催されました。

イベントでは火縄銃の実演や武将パレードのほか、楽市楽座になぞらえた特産品の販売や、グルメめぐり「秀吉バル」も行われ、秀吉公が描いたまちの情熱と活気がよみがえった2日間となりました。



6月8日(日) 目標をもち、挑戦し続け夢を叶える

80歳でエベレスト登頂を果たしたことで知られる三浦雄一郎さんと息子・豪太さんによる親子講演会が、長浜文化芸術会館で行われました。

三浦さんは76歳の時に骨盤骨折を負い、また不整脈の手術を受けながらも、エベレスト登頂を常に目標としていたことが復活の支えとなったことなどを披露し、約400人の来場者は、三浦さんの挑戦し続ける人生の話に熱心に耳を傾けました。



ながはま 見聞録

Nagahama Hotnews

このコーナーは、長浜の見どころ、市民の皆さんの活動の様子やまちで見かけたほっとな話題を紹介します。あなたが知っている旬の話題などがあれば、市民広報室（☎65-6504）までお知らせください。市公式Facebookページでもさらに詳しくみることができます。

<https://www.facebook.com/nagahama.hotnews>

「長浜 ほっとにゅーす」 検索

6月1日(日) 先人の思い伝える「西野水道まつり」

川の氾濫から村を守ってきた先人の偉業を讃える「西野水道まつり」が、高月町西野で開催されました。

まつりでは地元の古保利小5年生が「水道劇」を披露。また、当時の石工や村人に扮した時代行列や法被姿の子ども神輿が練り歩きました。

このほか、水道通り抜けや石工体験、根性餅つき、高月中吹奏楽部の演奏なども行われ、参加者たちは交流を深めながら、楽しいひとときを過ごしました。



6月1日(日) 緊張を最高のパフォーマンスに

長浜市陸上競技大会が浅井ふれあいグラウンドで開催され、小学生から一般まで497人が出場しました。

競技種目は、短距離走から長距離走、リレー、走り幅跳び、走り高跳び、砲丸投げと多種目にわたり、夏を思わせる暑い1日となりましたが、選手たちは仲間や家族から声援を受け、練習の成果を精一杯発揮しました。



6月1日(日) 子どもたちが新茶でおもてなし

普段着で気楽に参加できるお茶会として知られる己高庵の新緑茶会。茶道裏千家淡交会協力のもと毎年春と秋に行われています。

外の茶室では、地元の茶畑で摘んだ新茶を味わってもらおうと、高時小5・6年生19人がお客様をもてなしました。児童たちは新茶のふるまいとあわせて、お茶伝来の歴史や古橋に残るお茶の言い伝えなどを説明しました。



6月6日(金) 物語のおもしろさを伝えたい

たくさんの本にふれることで本に親しむ習慣を身につけ、言語表現の幅を広げてもらおうと、児童書作家・杉山亮さんの物語ライブが、速水小学校で行われました。

これは、同校学校運営協議会や図書ボランティアの協力を得て開催されたもので、子ども達は杉山さんの駄洒落を織り交ぜながらの物語に、のめりこんでいました。

